文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府八尾市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	八尾市の文化遺産を活かした地域活性化事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>八尾市では、将来都市像の方向性を示す『第5次総合計画』（平成23年2月策定）を基本として、『第2次八尾市芸術文化振興プラン』（平成23年3月策定）と『八尾市観光振興プラン』（平成27年3月策定）によって、本市の文化意識の向上と魅力の発見・発信に取り組み、個性豊かな地域資源を活かして地域全体の活性化を進めている。</p> <p>この目的を達成するために、市民が歴史遺産の重要性を再認識し、次世代に継承する意義を理解するとともに、八尾市の新たな観光資源として市内外に広く発信することを目指す。主要な事業として、市内各地域に残る祭礼行事の継承や歴史のなかに埋もれた能などの演劇の再興、普及を図る。</p> <p>本計画は、『第5次総合計画』に合わせ平成32年度まで実施するものである。</p>			
6 実施体制			
<p>平成30年度は、次の2団体によって実施する。なお、全体計画の調整、事業への助言を八尾市教育委員会教育総務部文化財課及び市長部局人権文化ふれあい部文化国際課が行う。</p> <p>(1) 高安能未来継承事業推進協議会 【事業名】…やお発 次世代へつなぐ高安能未来発信プロジェクト</p> <p>(2) 東郷文化遺産活用実行委員会 【事業名】…東郷地区の文化遺産継承事業</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 15,170 千円	平成30年度申請額： 8,613 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>少子高齢化による人口の減少が進み、地域に伝わる伝統行事である祭礼等に参加する人も少なくなっているが、本市が推進する地域分権を確立するうえでも、地域への愛着や人々のつながりを深めることが重要である。</p> <p>本計画における伝統文化や文化財は、地域間の差異を示すものであり、その価値を再認識することによって、地域の連帯意識を向上させ、高齢者と若者の世代間交流の活発化や地域の活性化が期待できる。また、伝統文化や文化財が、八尾の魅力として定着できれば、本市の観光振興につながるものと考えられる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>八尾市では、国指定史跡高安千塚古墳群の「保存活用計画」を策定し、今後、活用にむけた公有化と整備の検討や、平成29年度新たに国指定となった「由義寺跡」の保存活用計画の策定等に向けた取り組みを行っていく。また、平成35年度を目途とした市史編纂事業を行っており、市域の文化財の悉皆調査を実施している。「歴史文化基本構想」については、これら事業との整合性が必要なことから、これら事業が一定の成果をあげた段階で進めたい。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	やお発 次世代へつなぐ高安能未来発信プロジェクトについては「八尾市人権文化ふれあい部文化国際課」 地域の文化遺産継承事業については「八尾市教育委員会教育総務部文化財課」		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	八尾の文化・まつりについて元気(活発)と感じる市民の割合			関連事業:	②③	
目標値 1 :	【現状値】平成 28 年度 53 % ⇒ 【目標値】平成 32 年度 57 %					
設定根拠 1 :	『八尾市市民意識調査』における数値で、各年度で 1 % の上昇を目指す。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
53 %	55 %	%	%	%	%	
100%	102%					
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	市民の文化芸術に親しむ機会の割合			関連事業:	①	
目標値 2 :	【現状値】平成 28 年度 73 % ⇒ 【目標値】平成 32 年度 75 %					
設定根拠 2 :	『八尾市市民意識調査』における数値で、この4年間は70%前後であり、年 1 % の上昇を目指す。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
73 %	72 %	%	%	%	%	
100%	98%					

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	やお発 次世代へつなぐ高安能未来発信プロジェクト					実施団体：	高安能未来継承事業推進協議会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	「河内の歴史文化再考」をテーマに大学教授、研究者、能楽師等を講師に招いた連続講座の開催、玉祖神社を舞台にゆかりのある能楽曲を高安流の演者が上演する「高安薪能」の実施、その他高安能に関する普及活動を通じて、高安能を八尾を代表する魅力としていく。										
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	薪能への協賛者数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 22 団体 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 30 団体										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
22 団体	23 団体	団体	団体	団体	団体						
100%	96%										
事業②：	東郷地区の文化遺産継承事業					実施団体：	東郷文化遺産活用実行委員会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度				
事業概要：	東郷地区の祭礼に使用する太鼓台の復元修理を公開し、またその修理等を記録したパンフレットを作成し、地域の子ども達を含めて普及啓発を進め、地域の文化を継承していく。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	東郷夏まつりへの参加者数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 250 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 300 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
人	250 人	人	人	人	人						
	100%										
事業③：	郡川地区の文化遺産継承事業					実施団体：	郡川文化遺産活用実行委員会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度				
事業概要：	郡川地区の祭礼に使用する太鼓台の太鼓の復元修理やその修理等を記録したパンフレットを作成し、地域の子ども達を含めて普及啓発を進め、地域の文化を継承していく。										
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	郡川祭礼保存会の会員数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 150 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 150 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
150 人	150 人	人	人	人	人						
100%	100%										